



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 東邦亜鉛株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5707 URL <https://www.toho-zinc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸崎公康
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 田邊正樹 TEL 03-6212-1716
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	73,709	27.5	4,544	△16.4	4,061	△12.1	3,124	△18.0
2022年3月期第2四半期	57,822	27.9	5,433	82.6	4,620	36.4	3,811	41.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 11,119百万円(94.9%) 2022年3月期第2四半期 5,703百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第2四半期	230	12	—	—
2022年3月期第2四半期	280	68	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	159,195	—	56,065	—	—	35.2
2022年3月期	145,796	—	45,964	—	—	31.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 56,065百万円 2022年3月期 45,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,000	9.4	7,000	△33.4	5,500	△41.2	4,500	△43.2	331.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社 （社名） ー、除外 ー 社 （社名） ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	13,585,521株	2022年3月期	13,585,521株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	7,509株	2022年3月期	7,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	13,578,039株	2022年3月期2Q	13,578,165株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2022年11月11日（金）に機関投資家、証券アナリスト向け説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する資料につきましては、決算発表と同時にTDnet及び当社ホームページで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりです。売上高は前年同期比で増収、営業利益・経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期比で減益となりました。

(単位：百万円)

	2021年9月期	2022年9月期	増減 (増減率%)
売上高	57,822	73,709	15,886 (28)
営業利益	5,433	4,544	△889 (△16)
経常利益	4,620	4,061	△559 (△12)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,811	3,124	△686 (△18)

《経営環境》

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境は以下の通りです。

金属相場は、ウクライナ情勢の悪化、エネルギー価格の高騰、中国のロックダウンによるサプライチェーンの混乱等と、インフレ進行による世界経済の減速懸念が強まり、5月以降下落に転じました。

一方為替相場は、米国の大幅利上げにより、米ドルに対する円安・豪ドル安が急速に進行しました。

販売面では、半導体・部品不足による国内自動車産業の減産の影響を受け、主力製品の亜鉛・鉛は減販となりました。

《売上高》

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、主力製品の減販はありましたが、前年同期比では、亜鉛相場高及び円安により増収となりました。

《利益》

損益面では、資源事業で粗鉱品位低下、製錬事業もエネルギーコスト及び諸資材の高騰と相場下落による期末低価法評価損を計上したことで、前年同期比で減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります（以下、各セグメントの売上高には、セグメント間売上高を含みません）。

① 製錬事業部門

(単位：百万円)

	2021年9月期	2022年9月期	増減 (増減率%)	
売上高	47,632	62,574	14,941	(31)
営業利益	3,595	2,860	△735	(△20)

《亜鉛》

LME相場は、4月に4,500ドル台の高値を付けた以降は下落に転じ、減販となったものの、期中平均では前年同期比での相場高及び円安により、売上高は33%の増収となりました。

《鉛》

円安により販売価格は上昇したものの、減販の影響が大きく、売上高は前年同期比で5%の減収となりました。

《銀》

前年同期比で相場安となったものの、増販及び円安により売上高は28%の増収となりました。

上記のほか、硫酸などその他の製品を合わせた当事業部門の業績は増収となったものの、電力費などのエネルギーコストや諸資材の高騰から加工費が大幅に悪化したこと、第2四半期末における金属相場下落から低価法評価損を計上した影響もあり、前年同期比で減益となりました。

なお、金属相場（月平均）及び為替相場（月平均）の推移は下表のとおりであります。

区分	亜鉛		鉛		銀		為替レート	
	LME相場	国内価格	LME相場	国内価格	ロンドン相場	国内価格	円/米ドル	米ドル/豪ドル
2020年度	\$/t	¥/t	\$/t	¥/t	\$/toz	¥/kg	¥/\$	US\$/A\$
第1四半期	1,959	266,400	1,670	242,767	16.3	58,133	107.62	0.6587
第2四半期	2,340	300,833	1,876	263,000	24.4	84,567	106.22	0.6565
第3四半期	2,631	327,500	1,903	262,433	24.4	83,142	104.51	0.7147
第4四半期	2,748	342,867	2,020	275,500	26.3	90,990	105.90	0.7304
通期	2,419	309,400	1,867	260,925	22.9	79,208	106.06	0.6901
2021年度								
第1四半期	2,916	370,967	2,127	291,400	26.7	95,400	109.49	0.7726
第2四半期	2,991	383,167	2,341	319,233	24.4	87,843	110.11	0.7701
第3四半期	3,365	437,167	2,331	325,567	23.3	86,687	113.71	0.7351
第4四半期	3,743	487,600	2,334	329,667	23.9	91,017	116.20	0.7286
通期	3,254	419,725	2,283	316,467	24.6	90,237	112.38	0.7516
2022年度								
第1四半期	3,925	563,900	2,203	348,233	22.6	96,007	129.57	0.7230
第2四半期	3,269	504,533	1,976	335,067	19.2	86,870	138.37	0.7150

② 環境・リサイクル事業部門

(単位：百万円)

	2021年9月期	2022年9月期	増減 (増減率%)
売上高	2,247	2,641	393 (18)
営業利益	944	904	△39 (△4)

主力製品は減販となったものの、亜鉛相場高や円安により、売上高は前年同期比増収となりました。一方で諸資材やエネルギーコストの高騰による原価高などの影響もあり減益となりました。

③ 資源事業部門

(単位：百万円)

	2021年9月期	2022年9月期	増減 (増減率%)
売上高	6,746	6,930	183 (3)
営業利益	346	149	△197 (△57)

鉱石は減販となったものの金属相場高や豪ドル安もあり、売上高は前年同期比若干の増収となりました。一方、粗鉱品位低下による減産や鉱石販売条件の悪化により営業利益は減益となりました。

④ 電子部材・機能材料事業部門

(単位：百万円)

	2021年9月期	2022年9月期	増減 (増減率%)
売上高	2,578	2,919	341 (13)
営業利益	333	424	91 (27)

《電子部品》

電子部品事業は、拡大するEV市場からの部品需要に加え円安により、前年同期比で33%の増収となりました。

《電解鉄》

電解鉄事業は、国内の自動車用に加え、半導体や3Dプリンタ用特殊鋼向けが好調であったものの、米国の航空機用特殊鋼向けの需要が在庫調整で減少したことで、売上高は前年同期並みにとどまりました。

以上のほか、プレーティング事業及び機器部品事業を合わせた当事業部門の業績は、前年同期比で増収増益となりました。

⑤ その他事業部門

(単位：百万円)

	2021年9月期	2022年9月期	増減 (増減率%)
売上高	5,006	4,865	△141 (△3)
営業利益	440	376	△64 (△15)

防音建材事業、土木・建築・プラントエンジニアリング事業、運輸事業、環境分析事業等からなる当事業部門の業績は、亜鉛・鉛製品の減販に伴い運送荷物やリサイクル原料等の扱い量が減少したことなどもあり、前年同期比で減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、鉱石転売による売上債権の増加や円安による棚卸資産の増加、相場下落に伴うヘッジ評価益見合いのその他流動資産増加に加えて、円に対する豪ドル高に伴う換算の影響で鉱業権が増加したことなどもあり、前連結会計年度末に比べ133億99百万円増加し、1,591億95百万円となりました。

負債については、金属・為替相場の影響や鉱石の入荷タイミングの影響による運転資金需要増加への対応により、有利子負債が増加し、前連結会計年度末に比べ32億98百万円増加し、1,031億30百万円となりました。

純資産は、当第2四半期連結累計期間の利益計上や、金属相場下落による繰延ヘッジ利益の計上、豪ドル高による為替換算調整勘定の増加もあり前連結会計年度末に比べ101億円増加し、560億65百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は35.2%となり、前連結会計年度末に比して、3.7ポイント上昇しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ19億12百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は60億16百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、54億54百万円の支出（前年同期比22億18百万円の支出減）となりました。利益計上はあったものの、精鉱入荷タイミング（1回の入荷による支払いが多額）や円安による売上債権、棚卸資産の増加などに起因する運転資金需要もあり営業キャッシュ・フローは大幅な支出となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、38億93百万円の支出（前年同期比18億71百万円の支出減）となりました。これは主に、通常設備投資や鉱山投資に加え、関係会社への追加投資によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは73億7百万円の収入（前年同期比57億44百万円の収入減）となりました。これは主に、運転資金需要への対応により有利子負債が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日公表の予想から修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,929	6,016
受取手形、売掛金及び契約資産	17,594	22,432
電子記録債権	1,160	832
商品及び製品	10,726	13,945
仕掛品	16,088	15,680
原材料及び貯蔵品	25,263	24,905
その他	3,850	8,708
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	82,613	92,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,119	7,073
機械装置及び運搬具（純額）	10,395	10,370
土地	16,605	16,605
その他（純額）	1,150	1,541
有形固定資産合計	35,271	35,590
無形固定資産		
鉱業権	12,016	14,368
その他	43	42
無形固定資産合計	12,059	14,411
投資その他の資産		
投資有価証券	10,246	11,162
退職給付に係る資産	878	884
その他	5,615	5,515
貸倒引当金	△888	△888
投資その他の資産合計	15,852	16,673
固定資産合計	63,183	66,675
資産合計	145,796	159,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,720	10,958
短期借入金	30,100	38,365
1年内返済予定の長期借入金	10,192	10,639
コマーシャル・ペーパー	8,000	9,000
未払法人税等	1,044	1,023
引当金	280	314
資産除去債務	-	83
その他	12,065	5,067
流動負債合計	72,404	75,451
固定負債		
長期借入金	18,153	17,263
引当金	530	589
退職給付に係る負債	140	130
資産除去債務	4,116	4,531
再評価に係る繰延税金負債	4,173	4,173
その他	313	989
固定負債合計	27,427	27,678
負債合計	99,831	103,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,630	14,630
資本剰余金	9,876	9,876
利益剰余金	14,787	16,893
自己株式	△31	△31
株主資本合計	39,264	41,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	315	301
繰延ヘッジ損益	△3,668	1,642
土地再評価差額金	8,610	8,610
為替換算調整勘定	912	3,642
退職給付に係る調整累計額	530	499
その他の包括利益累計額合計	6,700	14,695
純資産合計	45,964	56,065
負債純資産合計	145,796	159,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	57,822	73,709
売上原価	48,640	64,993
売上総利益	9,182	8,716
販売費及び一般管理費	3,749	4,171
営業利益	5,433	4,544
営業外収益		
受取利息	13	30
受取配当金	44	137
為替差益	-	308
その他	132	167
営業外収益合計	191	643
営業外費用		
支払利息	245	285
持分法による投資損失	18	171
環境対策費	389	625
デリバティブ評価損	269	-
為替差損	49	-
その他	31	43
営業外費用合計	1,004	1,126
経常利益	4,620	4,061
特別利益		
固定資産売却益	81	8
投資有価証券売却益	8	17
特別利益合計	90	26
特別損失		
固定資産除却損	131	81
投資有価証券売却損	-	11
特別損失合計	131	93
税金等調整前四半期純利益	4,579	3,993
法人税、住民税及び事業税	700	947
法人税等調整額	67	△78
法人税等合計	768	869
四半期純利益	3,811	3,124
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,811	3,124

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,811	3,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	△14
繰延ヘッジ損益	1,029	5,310
為替換算調整勘定	965	2,729
退職給付に係る調整額	△22	△30
その他の包括利益合計	1,892	7,994
四半期包括利益	5,703	11,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,703	11,119
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,579	3,993
減価償却費	2,146	2,176
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
その他の引当金の増減額(△は減少)	26	17
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△5	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△28	△54
受取利息及び受取配当金	△58	△167
支払利息	245	285
為替差損益(△は益)	74	△97
持分法による投資損益(△は益)	18	171
売上債権の増減額(△は増加)	△2,883	△6,424
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,269	△2,192
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,273	△980
固定資産売却損益(△は益)	△81	△8
固定資産除却損	131	81
未払費用の増減額(△は減少)	△241	△1,905
未払消費税等の増減額(△は減少)	△770	584
その他	450	143
小計	△6,938	△4,381
利息及び配当金の受取額	58	149
利息の支払額	△253	△271
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△539	△950
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,672	△5,454
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,420	△1,327
有形固定資産の売却による収入	86	8
無形固定資産の取得による支出	△1,026	△1,283
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	13	140
貸付金の回収による収入	33	-
関係会社株式の取得による支出	△3,322	△176
関係会社出資金の払込による支出	-	△1,158
その他	△124	△94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,764	△3,893
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△311	7,962
長期借入れによる収入	4,200	-
長期借入金の返済による支出	△1,129	△613
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	11,000	1,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△678	△1,018
その他	△27	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,052	7,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	127
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△377	△1,912
現金及び現金同等物の期首残高	5,934	7,929
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,556	6,016

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	製錬	環境・リ サイクル	資源	電子部材・ 機能材料	計				
売上高									
外部顧客への売上高	47,265	2,247	3,400	2,578	55,491	2,330	57,822	—	57,822
セグメント間の内部 売上高又は振替高	366	—	3,346	—	3,712	2,676	6,389	△6,389	—
計	47,632	2,247	6,746	2,578	59,204	5,006	64,211	△6,389	57,822
セグメント利益	3,595	944	346	333	5,220	440	5,661	△227	5,433

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△227百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	製錬	環境・リ サイクル	資源	電子部材・ 機能材料	計				
売上高									
外部顧客への売上高	61,985	2,641	3,820	2,919	71,366	2,342	73,709	—	73,709
セグメント間の内部 売上高又は振替高	588	—	3,109	—	3,698	2,522	6,221	△6,221	—
計	62,574	2,641	6,930	2,919	75,065	4,865	79,930	△6,221	73,709
セグメント利益	2,860	904	149	424	4,340	376	4,716	△172	4,544

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△172百万円には、セグメント間取引消去135百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△307百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製錬	環境・リ サイクル	資源	電子部材・ 機能材料	計		
亜鉛製品	15,662	—	—	—	15,662	—	15,662
鉛製品	12,005	—	—	—	12,005	—	12,005
電気銀	14,809	—	—	—	14,809	—	14,809
硫酸	702	—	—	—	702	—	702
環境・リサイクル製品	—	2,234	—	—	2,234	—	2,234
鉱石販売等	—	—	3,400	—	3,400	—	3,400
電子部品	—	—	—	1,020	1,020	—	1,020
電解鉄	—	—	—	725	725	—	725
防音建材	—	—	—	—	—	666	666
土木・建築・プラントエンジニアリング	—	—	—	—	—	789	789
その他	4,696	—	—	831	5,527	875	6,403
顧客との契約から生じる収益	47,876	2,234	3,400	2,578	56,089	2,330	58,419
その他の収益	△610	12	—	—	△597	—	△597
外部顧客への売上高	47,265	2,247	3,400	2,578	55,491	2,330	57,822

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製錬	環境・リ サイクル	資源	電子部材・ 機能材料	計		
亜鉛製品	20,775	—	—	—	20,775	—	20,775
鉛製品	12,599	—	—	—	12,599	—	12,599
電気銀	18,662	—	—	—	18,662	—	18,662
硫酸	810	—	—	—	810	—	810
環境・リサイクル製品	—	2,779	—	—	2,779	—	2,779
鉱石販売等	—	—	3,894	—	3,894	—	3,894
電子部品	—	—	—	1,354	1,354	—	1,354
電解鉄	—	—	—	719	719	—	719
防音建材	—	—	—	—	—	712	712
土木・建築・プラントエンジニアリング	—	—	—	—	—	617	617
その他	8,796	—	—	845	9,642	1,012	10,654
顧客との契約から生じる収益	61,644	2,779	3,894	2,919	71,237	2,342	73,580
その他の収益	341	△138	△74	—	128	—	128
外部顧客への売上高	61,985	2,641	3,820	2,919	71,366	2,342	73,709

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。